

## 第4回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

場 所：東久留米市役所7階703会議室

日 時：平成28年11月28日（月）14：00～16：00

出席者：（敬称略・順不同）

（審議会委員） 松波委員 紺野委員 佐藤委員 工藤委員 井田委員 酒井委員

桑原委員 斎藤委員 松田委員 田原委員

（事務局） 山下部長 中谷課長 上田管理係長 曾田

（コンサルタント）株式会社市川環境アセス 吉田氏 鈴木氏

傍聴希望者 なし

配布資料

資料1：第3回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

資料2：東久留米市一般廃棄物処理基本計画 素案

資料3：答申書（案）

〈東久留米市廃棄物減量等推進審議会〉

1. 会長より開会の挨拶
2. 事務局より、配布資料の確認
3. 第3回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録の承認
4. 議題

〈東久留米市一般廃棄物処理基本計画 素案について〉

【委員】「雑紙」という用語を理解していない人は、「雑誌」と間違えることがあるため、ごみの出し方のマニュアル等には、「雑がみ」のように平仮名で記載するなどの工夫が必要である。

【委員】ごみの出し方などを、外国人にはどのように伝えるのか。

【事務局】ごみの出し方のマニュアルでは、英語、中国語、韓国語表記のものを作成しています。

【委員】粗大ごみは、不用品回収の業者と市が協力して回収できないか。まだ利用できるのに捨てているのが勿体ないため、再利用して欲しい。また、不用品回収業者と市が協力して行い、信頼できる不用品回収業者を市で紹介して欲しい。

【事務局】シルバー人材を使って回収を行い、再利用できるものは無料で引き取り、修理して販売している自治体もあります。そういった他市の事例を参考に、検討はしていきます。

【委員】東京都の計画では食品ロスの取り組みを行っていますが、東久留米市では何か考えているか。

【事務局】フードバンクなどを行っている自治体がありますので、今後は、そういった事例の実績等を情報収集して検討を行いたいと考えております。

【委員】原単位などの専門用語について、分かりやすく表現する工夫など、なにか対策はないか。

【事務局】分かりにくいと考えられる用語については、脚注に説明を記載する若しくは用語集を付けるなどにより対応します。

【委員】東久留米市の資源化率は、国や東京都と比較すると、とても高くなっているが他市や23区などと比較すると、どのくらいの位置付けなのか。

【事務局】東久留米市は、焼却灰等もエコセメントとして資源化しているため資源量は高くなっています。多摩地域26市のなかでは、概ね10番目位に位置付けています。

【委員】資料として他市との比較結果も記載するとよい。

【委員】集団回収の報奨金の実績が下がっている原因は、買取り単価が下がっているからか。

【事務局】全体として回収量が下がっており、特に紙類の回収量が減っているからです。

【委員】紙類がなぜ減っているのか。

【事務局】一つの要因としては、新聞の購読者が減っていることが考えられます。また、集団回収の場合は、一定の箇所に排出となるため、運ぶ手間がかかるので集積所などの行政回収に排出する人も増えています。

【委員】不燃残渣の資源化について、柳泉園組合では、RPF化以外の再資源化を検討している。

【事務局】「RPF化等」若しくは「再資源化事業」の記載に変更して対応します。

【委員】戸別収集なら、戸建住宅を対象に排出指導ができるが、集合住宅には指導ができないため、集合住宅の指導として、理事会等から、各住民に説明してもらうように周知したほうが良い。

【委員】布類や紙類は、雨天では資源にならない場合があるが、雨天時は回収を中止するなどすれば周知徹底になる。

【委員】雨天時に回収中止すると、回収に備えていた収集車や作業員が無駄になってしまうことや、翌週の排出量が多くなり、捌けなくなる可能性がでてくる。また、布類は濡れてしまうと全てごみになってしまう。そのため、雨天時には、紙類は出しても良いが、布類は出さないようにすることの周知徹底が望ましい。

【事務局】現在、来年4月に向けて新たなごみの出し方のパンフレットを作成中です。その中に、雨の日は布類の排出を控えるなどの記載をしていく予定です。

【委員】イラストとかあるとわかりやすい。

#### <答申書案について>

【委員】環境学習についての啓発活動に係る項目は、重要な箇所となるため、もう少し記載を増やす必要がある。

【委員】東久留米市にある商工会のなかには、事業者で市民もいる。そのなかで、事業系ごみと家庭ごみの境目を理解していない人もいる。商工会は年に2回会報を発行している。そういった会報と一緒にマニュアル等を配布するなど、市と商工会が連携をとって啓発活動を実施するとよい。

【委員】戸別収集の実施により、資源の持ち去り量が減り、資源量が増え、資源化率の向上に繋がる効果があることを追記して欲しい。

#### <その他>

【事務局】今後のスケジュールになりますが、パブリックコメントを平成28年12月12日から平成29年1月6日まで実施します。次回の日程は平成29年2月1日の開催を予定しています。